

新年のご挨拶

依田窪老人保健施設「いこい」

施設長 石橋久夫

新年明けましておめでとうございます。

利用者の皆様、そして地域の皆様方のご多幸を心より祈念申し上げます。

去年は中国武漢で発生したコロナ感染が、あっという間に世界中に広がり、それぞれの国で悲惨な状況が生まれています。日本においても、政府はコロナ感染対策と経済対策の両立をめざすということでしたが、現実には感染者数が20万人を超え、それに伴い死亡者数も3000人近くとなり、医療崩壊の危機に直面しています。ワクチン接種の普及によって、少しでも早く終息し常態に復することを願わずにはられません。

生老病死を支える

「生まれ生まれ生まれ生まれて生の始めに暗く、死に死に死に死んで死の終わりに冥し」

天才宗教家 空海の言葉だけにズシリと重みを感じます。また、お釈迦様は「生老病死」を四苦と捉え、それを乗り越えて悟りの境地に至る道を説きました。一方で、我々日本人の死生観というのは、大自然の摂理を生き方のお手本とし、春夏秋冬の輪廻の繰り返しの中で、一年一年を大切に刻み、その集積を人生の物語として大事に育んできました。生死そのものにあまり囚われすぎないで、生老病死という長い人生の物語を寛容に受け

入れ穏やかに人生の終焉を迎えるというのも、日本的かと思います。私の気に入っている曲に、堀内孝雄作曲、小椋佳作詞の「山河」という曲があります。その歌詞を書いてみます。

「山河」

人は皆 山河に生まれ 抱かれ 挑み

人は皆 山河を信じ 和み 愛す

そこに 生命をつなぎ 生命を刻む

そして 終いには 山河に還る

顧みて 恥じることない 足跡を山に 残したろうか

永遠の 水面の光 増す夢を 河に浮かべたろうか

愛する人の瞳に 愛する人の瞳に

俺の山河は美しいかと 美しいかと

スマホやパソコンをお持ちの方は、「堀内孝雄 山河」と検索すればすぐ出てきます。堀内孝雄さんの声で聴くと、この歌詞の意味がしっかり伝わってきます。是非聞いていただきたいと思います。

人生の終焉が、苦しみに満ちたものではなく、穏やかであるというのはとても大事だと思います。老健いこいでは、人生の終末期を過ごされるお年寄りに寄り添い、その辛さを癒しながら、少しでも笑顔が浮かぶように全職員が務めています。そして、認知機能や身体機能が低下してきても、尊厳をみんなで支え、人生に対する満足と感謝の心を大切に、安らかな眠りにつけるよう配慮しています。